



未来へ 「伝えるプロジェクト」 - コトのアート研究所誕生 -

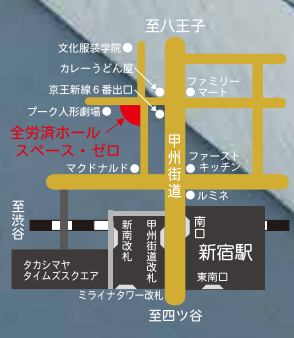
トークセッション
3月31日 日
15:00-16:30

2019年 3月21日 木・祝 ~ 31日 日
11:00~20:00 (初日は14:00~、最終日は~17:00)

全労済ホール / スペース・ゼロ

地下1階 ギャラリー・展示室 (展示室は3月25日(月) 14:00~)
東京都渋谷区代々木 2-12-10 全労済会館 B1 JR 新宿駅南口徒歩5分

入場無料



<主催> 一般社団法人 MMIX Lab
<共同主催> 全労済ホール / スペース・ゼロ
<助成> 2018 年度 日本郵便 年賀寄附金助成事業
<協力> 一般社団法人まちとアート研究所、特定非営利活動法人地球対話ラボ、アチエ・コミュニティアート・コンソーシアム

<photo: 未来へ「伝えるアートプロジェクト」2018>

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市などは人口流出が激しく、社会観光（ダークツーリズム）の開発など創造的なまちの復興プランの受発信が必要です。

本展では宿泊施設を併設したアート体験や震災を伝えるサバイバル体験のできる石巻の復興支援の活動拠点「コトのアート研究所」の紹介を中心に、震災体験を伝える「震災紙芝居」やインドネシア・スマトラ沖地震の被災地とのアートによる交流事業の成果など、震災を未来へ伝える活動を行うアーティストや団体の取り組みを広く紹介します。

<出展者・団体プロフィールおよび出展内容>



パルコキノシタ

1965年、徳島県生まれ。漫画家、現代美術家。小中高の教師を経てイラストレーターに転向、月刊漫画ガロで漫画家デビュー。ベネチアビエンナーレ、ドクメンタでの国際展にてゲリラパフォーマンスを行うなど、軽いフットワークと柔らかな顔で世界を突進中。2004年、仙台市の商店街で行われた「観光とアート展」以来、宮城県での企画は仙台四郎に扮して実施。2017年、石巻市での現代アート展「リボンアートフェスティバル」参加作家。本展へは震災をテーマにした「震災紙芝居」や軽トラキャンピングカーの写真、復興住宅で毎月「おしるこカフェ」の開催を知らせる「おしるこ通信」を展示。



村上タカシ

美術家、MMIX Lab 代表、大学教員。熊本生まれ。2009年各種メディアを融合させ、アートと地域を結び創造的芸術活動を行う団体「MMIX Lab」(媒体融合 Lab)を仙台市で発足。東日本大震災以降、津波でねじ曲がった公共物等を残し震災を後世に伝える「3.11メモリアルプロジェクト」他の活動を実施。最近では持続可能な復興支援の拠点づくりとして宮城県石巻市や大崎市鳴子温泉などでサバイバルアートキャンプやアートによる社会観光(震災ダークツーリズム)プロジェクトを展開中。本展では「コトのアート研究所」リノベ中の写真や木造仮設住宅の部材を使ったインスタレーションを展示。



門脇篤

1969年仙台市生まれ。東京外国語大学アラビア語学科卒。2003年仙台の商店街で行われたアートプロジェクト「TANABATA.org」に参加したことがきっかけで、アートの知識や興味のない人をまきこんだプロジェクト型のアートを各地で展開。東日本大震災後は、アートによるコミュニティの再生支援やスマトラ沖地震の被災地アチェと東北とのアートによる交流事業を行なっている。本展へは震災時の体験を大きな広がりの中で描いたドキュメンタリー「インドネシアで私が200キロ自転車をこいだ理由」やアチェとの交流の中で生まれた音響作品を展示。



NPO 法人地球対話ラボ

「地球対話」は、インターネットテレビ電話などを使って、地球上で遠く離れた国や地域など、日常生活では出会うことが難しい人びとの間をつないで行く、同時・双方向・対面のコミュニケーション。お互いの顔を見て/見られて、声や表情が作用し合う場の創造や相手のことばに驚いたり、一緒に笑ったり、その実感や経験から、自分が変わり、相手との関係が変わり、やがて世界が変わる交流を目指している。2013年から東松島市とアチェとを結ぶ事業を開始。本展へは2017年から始まった「アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト」の報告展示を行う。



富松篤

1985年和歌山県生まれ。彫刻家。大学院修了後、同大学の仲間達とアートスタジオ「pimp studio」立ち上げ(2011年~2016年まで在籍)東京を拠点に「現代における人体彫刻の可能性」をテーマに木彫作品を制作、個展、グループ展、アートフェアに参加する。2016年から宮城県石巻市に制作拠点を移し「人体彫刻」のほかに「アトリエと作品がある浜」とテーマを増やし、流木を使用した立体作品シリーズ「牡鹿に棲まうもの」を発表。宮城県石巻市牡鹿半島鮎川浜、桃浦に作品を設置。現在、牡鹿半島に住みながら制作活動を行う。本展でも牡鹿半島の流木による鹿の彫刻を展示。



アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム

2004年のスマトラ沖地震から14年が過ぎ、震災の風化が課題となる中、アートによる被災地間国際交流によって創造的にこれを乗り越えていこうとアチェのアーティストや実業家、教員、学生など多彩なメンバーにより2017年7月設立。「アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト」の企画・運営や、これを通じた人材育成、国際交流などを行っている。本展へは2018年12月に行われたアートプロジェクトの中から、震災の伝承とそれにとどまらない広がりをもったいくつかの企画を紹介する。

【お問い合わせ】全労済ホール/スペース・ゼロ TEL: 03-3375-8741 (平日 10:00~17:00)
MMIX Lab (info@mmix.org (担当: 山田) TEL: 070-6970-1976)

満0歳~満79歳まで加入できる

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

医療安心タイプ 総合タイプ

キッズタイプ シニア傷害安心タイプ

保障のことなら 全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ZENROSAI NEWS

通院 死亡 入院 賠償

お手頃掛金 しっかり保障

月々900円※から家族の保障

※キッズタイプの掛金 <掛金・保障内容はタイプによって異なります>